

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 8 2011. 3. 16 18:00 発 全日本民医連対策本部

＝ 藤末本部長 宮城民医連各事業所を激励！ ＝

病院は電気がやっと通じましたが、地域のライフラインは復旧していません。塩竈市、多賀城市の避難所には、約2万人の住民が避難しています。食事は1日おにぎり1個程度のみ、しかも早い者勝ち。医師や看護師はおらず、全く手が回っていません。水がないのでトイレが流せず、川の水を汲みに行っている状況で、高齢者は水も飲まずにトイレを我慢しています。慢性疾患の増悪、インフルエンザ発症、メンタルの問題もおこっています。仙台市内の避難所も同様です。

坂病院は地域の基幹病院としての急性期医療と、塩竈市・多賀城市の避難所の健康管理を担わなくてはなりません。地域では医師会、薬剤師会、消防署や保健師などで対策会議が行われています。松島へも支援が入っています。職員は元気に頑張っていますが疲労もたまっています。休んでもらうための支援も大事です。医師・看護師・事務の支援はますます求められています。

＜これから支援に入られるみなさんへ＞

- ①ゴミ問題がありますので、マイカップ、マイ箸、マイ食器をご持参ください。また、帰りにはご自分のゴミは持ち帰るよう、ご協力をお願いします。
- ②支援者自身の非常食に加え、炊き出しに使えるもの(コメ、野菜、肉製品など)があると喜ばれます。ガスは通じていませんので、煮炊きはカセットコンロ、携帯ガスコンロを使用しています。
- ③医師は認め印をご持参下さい。診療に必要な場合があります。

全日本民医連独自の支援者定期便（27人乗）確保しました

遠方から東京経由で支援に入られる方の交通手段の確保として「全日本民医連支援者定期便」を確保しました。どんどん、ご利用下さい。発着は全日本民医連です。利用希望の方は前もって全日本民医連にご連絡下さい。

＜全日本民医連発＞ 3/19 (土) ～3/25 (金) の毎日 9:00発 (予定)

＜坂病院発＞ 3/20 (日) ～3/26 (土) の毎日 午前発

支援予定者の報告先を「震災対策本部」に変更します

報告先を全日本民医連医師部から震災対策本部に変更します。報告用紙(改訂版)を添付します。

各地で行政交渉を！マスコミも民医連の活動に注目！

今回の震災はかつてなく大規模、かつ広範囲に被害が広がっています。被災地では車両用のガソリンや軽油、自家発電や暖房用の重油などが不足し、復興の障害になっています。津波被害で大勢の方が住まいを失っています。住宅対策も急務です。また、東京電力・東北電力の管轄地域では計画停電の影響で、日常診療や在宅患者の療養に影響が出ています。

行政への要望、業界への働きかけが必要です。マスコミも民医連の活動に注目しています。どんどん訴えていきましょう。各県に設けられている震災対策本部へ、要求交渉に取り組んで下さい。(埼玉の例を添付します。参考にして下さい)

＜情報＞グーグルマップ+ホンダイナーナビのご紹介

http://www.google.com/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_traffic.html

ホンダ車が通った軌跡をグーグルマップ上で表示するサービスがスタートしています。車が通っていないところは、そもそも通れないか、通信ができないということが想定されます。宮城の使える道路のデータです。道路上に青色の所が、本田製自動車を通った所を表示しています。

各地で支援カンパが進んでいます。本日までの到達756万8353円！

◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わりますので、各県連におかれましては各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。